

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立唐橋小学校

校長 西村 智恵

4月18日に、本校6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果をお知らせします。本調査は、国語・算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習に関することを問う「児童質問紙」調査も実施されています。「児童質問紙」につきましては、昨年度に引き続き児童がオンラインで回答しました。家庭での過ごし方と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお知らせします。

総合結果

国語・算数ともに全国平均を若干下回る結果となりました。しかし、どちらの教科においても多くの設問で、無回答率が全国平均よりも低く、児童が問題に向き合い、じっくり考え、あきらめないで取り組もうとする姿勢が育まれていることを感じられます。

本校のめざす子ども像の1つである「自ら考え、学ぶ子」。そのような一面が、調査結果からたくさん見受けられました。

国語科より

全体的に全国平均に比べ若干低い正答率となりました。特に課題に感じたのはアウトプットする力です。目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題において、無回答率は低いものの全国平均に比べて正答率が大きく下回っていました。

一方、インプットする力については成果が感じられます。物語を読んで具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする問題では、全国平均に比べて正答率が大きく上回っていました。

読み取って考えをもつ力を伸ばしていくことを継続しつつ、自分の考えを相手に伝えたい、そして分かりやすく伝えたいという思いを育むことで、相手意識をもってアウトプットする力を伸ばしていく必要性を感じます。

算数科より

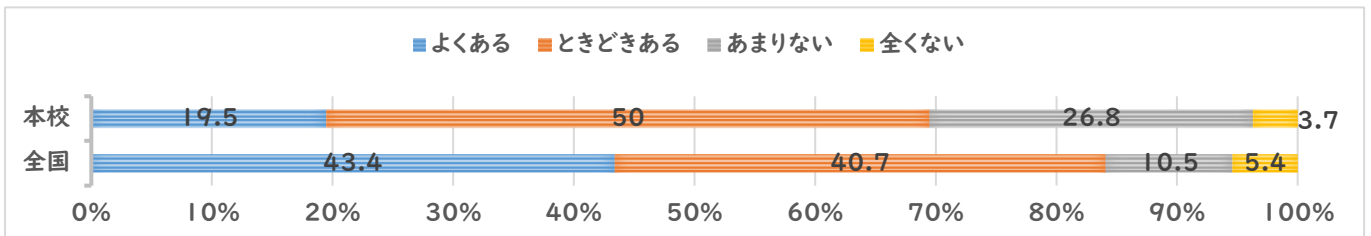
全体的に全国平均に近い正答率でした。本校の児童がよくできていたのが、道のりが等しい場合の速さについて時間をもとに判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題です。記述式の問題ということもあって、全国的に正答率の低い問題でしたが、本校児童は無回答率が低く、正答率も全国平均に比べ高い結果となっていました。

一方、示された情報を基に必要な数値を読み取り、基準値を超えるかどうか判断する問題では、全国平均に比べ大きく下回っていました。情報を活用する、生活に生かしていくことへの課題を感じます。

学習のための学習とならないよう、学んだことが生かせるという生活との関わりを意識できる働きかけの重要性を感じます。

児童質問紙調査から①

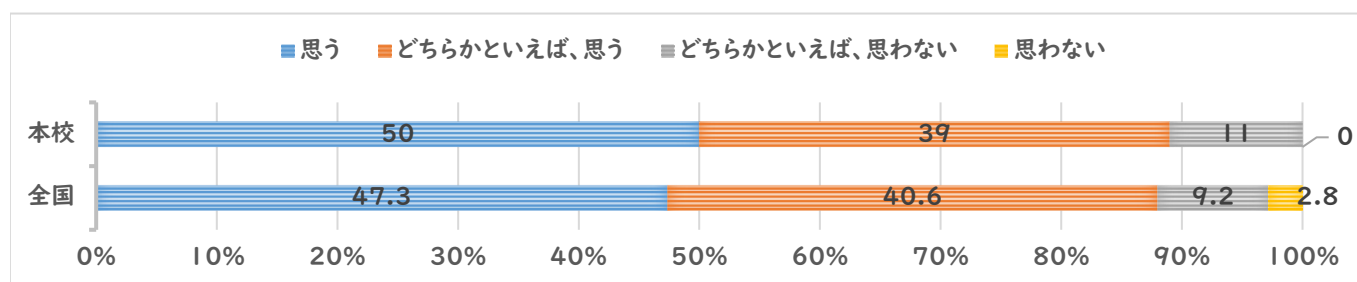
Q. 自分には、よいところがあると思いますか。



「児童質問紙」調査の結果で、たいへん印象的だった質問項目です。全国の平均に比べ、本校児童は自分のよいところについてあまり実感できていないという回答と結果です。学校でもよいところを褒め認める声をかけているつもりです。きっとご家庭でもそのような関わりをもっておられることだと思います。もしかすると、大人がより一層子どもの（子どもだけでなく他者にも）よいところを見つけていく意識を強くもつことが大切だと教えてくれているのかもしれませんが。また、小さい成功体験を積み重ねることで、子どもたちに自分のよさを実感してほしいと思います。

児童質問紙調査から②

Q 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。



「児童質問紙」調査の結果で、たいへん嬉しかった質問項目です。全国の回答に比べ、本校の児童は「先生が教えてくれている」と感じている割合が多い結果となりました。また、「思わない」と回答した児童が「0」だったことも嬉しい結果です。子どもたちが学校にいる時間は限られています。その限られた子どもたちとの時間の中で、“教える”時間をやはり大切にしていきたいと改めて感じさせられます。

担任がより一層子どもたちに教える時間を割けるよう、保護者の皆さんには今後ともご協力をお願いいたします。

保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。今回の結果が学力の全てを表しているのではなく、決して順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や周囲の大人のかかわりがその基盤となります。

今回の結果を通して、学校では引き続き、学校教育目標「未来を生きぬく力の育成」に向けて、子どもたちが学校で学んだことをもとに自立していけるよう、保護者や地域の皆様の協力を得ながら、教職員一丸となって子どもたちと向き合っていきたいと思っております。

ご家庭においても、引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりに、ご協力をお願いいたします。